

第8回 高校生との意見交換会

～光の窓から日本の空を～



令和7年1月25日（土）13:30～15:30
場所 光市議会本会議場

次 第

- 開会セレモニー
- 議会からの説明
- 高校生の主張
- 休憩
- 高校生と市議会議員の意見交換会
- 閉会セレモニー

1 高校生の主張

【聖光高等学校 小熊杏さん】



私たちは光市で生まれ、ずっと住んできました。光市はとてもよい町です。気候は穏やかで天災も少なく、海・山・川などの自然に恵まれています。特に、室積・虹ヶ浜海岸は日本の渚百選にも選出されており、全国に名を知られています。

そんな住みやすい光市ですが、課題もあります。現在の光市の高齢化率は約36%、全国平均の約29%を上回っています。日本全国で見られる少子化に加え、若い労働力の県外流出が止まらず過疎化が進めば、税収は減り福祉や行政サービスに影響が出ます。この現状を打開するためには、光市を魅力ある市にしなければなりません。子育て世帯や、私たちのような世代が永住したいと思える町にするために、具体案を考えました。

まずは、環境を生かす方法です。光駅の目前に広がる虹ヶ浜海岸は、夏に多くの海水浴客が集まります。花火大会では浜辺を埋め尽くすほどの人が訪れました。また、シーズンごとに釣り人が浜辺に立ち、豊かな海の恵みを享受している姿も見られます。とても賑やかで素晴らしいのですが、これらは短期的なものです。大切なのは、年間を通じて、恒常的に人を呼べる環境にすることではないでしょうか。まずは、冬期に目玉となるものがあるとよいと考えました。SNSに映えるイルミネーションの設置や、冬の海産物が味わえる冬の海の家などです。違った年齢層をターゲットにする海の家が複数あれば、世代を問わず人を呼ぶことができます。新たな雇用の創出にもつながります。せっかく豊かな自然が近くにあるので、

それを最大限に生かした取り組みがあるとよいと思います。

次に、光市の観光名所を巡ることができるアプリの開発を考えました。伊藤公資料館や冠山総合公園、普賢寺をはじめとして、光市の歴史や文化を感じられる場所がたくさんあります。それらの紹介ページを作り、実際に訪れるとポイントがたまり、光市の特産品と交換できるサービスがあれば、現地に行ってみたいと思う人が増えると考えました。紙媒体のパンフレットやチラシはたくさんありますが、現代はネット社会になり、SNSで情報を集める人が増えているため、デジタル展開は欠かせません。国外への発信も想定して、複数言語での閲覧ができるようにして、情報発信に力を入れていけば、光市の魅力を多くの人に知ってもらうことができると思います。

光市への人の流れを活性化することで、光市に愛着を持ち、ここで生活したいと考える人を増やすことができると思います。若い年齢層の将来が明るくなるような町づくりのために、私たちの意見を反映していただく機会を設けていただき、ありがとうございました。

○西村議員

まずは小熊さん、素敵な発表・ご提言ありがとうございました。お話を聞いていて、とてもよく勉強されているなと思ったのが率直な感想です。私は高校生の時、こんなことを思ったことが1ミリもありませんでした。高齢化率に着目して的確に課題を捉えているなと思いましたし、何より、光市の魅力をもっと発信する手段を増やしていくんだという選択が特に素晴らしいと思います。



アプリの開発という話もありますし、もちろん専門のアプリを開発して、光市による観光に特化して観光名所だけを紹介して巡ってというアプリ自体は、確かにないというふうに私も承知をしています。ただ、仕組みとして光市自体のインスタグラムだったり、Facebookとか、発信している媒体というのは複数あるので、そういったものの組み合わせであったりとか、アプリの中身自体もシンプルにして、より多くの人目に触れる仕掛け、そして、それが何かポイントでつながるという考え方、本当に素晴らしいと思いました。今後の活動の参考にさせていただきたいなというふうに思いました。素敵なご意見ありがとうございました。

○井垣議員



ご意見どうもありがとうございました。海水浴場だけでなく、冬も何とかしてほしいというだけでなく、アイデアを2つ出していただいたんですね。例えばイルミネーションはどうだとか、冬の海の家という概念はどうだとか、そこは素敵だなと思いました。

それとアプリの方では複数言語というところにも言及してくださっていて、実は今日、日本の空へってやったんですけども、すでに皆さんの思いは世界の空へ届いているなという感じがしまして、素晴らしいと思いました。ありがとうございました。

○早稲田議員

小熊さん、素晴らしい発表ありがとうございました。私も発表の中で一番素晴らしいと感じたのは、冬にも海の家が発想についての発表です。どうしても海の家といえば夏と決めつけておまして、そういった先入観が自分の中にあったなということで、若い方の自由な発想ということが素晴らしいなと感じました。冬の間を目玉となる海産物などが味わえるというのも、とてもいいアイデアだなというふうに思います。



また、観光名所をめぐることができるアプリの開発というところの、やっぱりSNSによる情報発信というのが、今は絶対必須だということを改めて認識することができました。いずれにしても、光市の魅力を多くの方に知っていただくための情報発信について、私たちが改めて皆さんの意見を聞きながら活動を続けていきたいと思いました。本日は小熊さん、素晴らしい発表ありがとうございました。

【聖光高等学校 岩田茄都乃さん】



光市には二つの高等学校があり、広域から若者が集まります。そのため市外の友人もたくさんでき、一緒に遊びに行くこともあります。ではどこに行こうか…というとき、大抵は市外に出ることになります。魅力のある、娯楽施設が少ないというのがその理由です。せっかく集う若者たちが市外に出てしまうのは、もったいないことです。

若者が長く滞在できるような、放課後や休日に気軽に集まれる楽しい環境があれば、光市がもっと活気あふれる町になるはずです。たとえば、学生が積極的に利用できるような、無料Wi-Fiの整備された、勉強や休憩ができるフリースペースがたくさんあるとよいと思います。光市立図書館も利用できますが、駅から遠いという利便性での問題と、座席数が少ないという現状があります。試験週間にフリースペースを利用し、みんなで勉強をすることができれば、勉強もはかどるのではないかと思います。また、休日に立ち寄れるカフェも魅力的です。光市では空き家が増加していると耳にしました。空き家を相続した人が、不要な不動産を簡単に売買できる法制度を整え、起業を考えている人が購入しやすくなれば、すてきな店舗が増えるのではないかと思います。このように、若年層が過ごしやすくなるような場所が増えれば、光市にとどまる人も増えるはずです。

一方で、若者だけではなく、子育て世帯の多い中年層や、高齢者層にとっても過ごしやすい町でなければなりません。光市には他の市から人を呼べるような、目玉となる遊具のある公園がありません。冠山総合公園の公園は、雨による土壌の浸食で地盤が崩れやすいため遊びにくいこと、遊具が少ないこと、駅から遠いため車を持っていないと訪れにくいという問題点があります。遊んだ後、周辺に立ち寄れる店舗もないため、どうしても市外に出てしまいます。遊具スペースの再構築や、冠山総合公園を中心として周囲に大型のショッピングセンターを併設するなど、周辺環境の整備は集客に有効ではないでしょうか。さらに、バスの本数が減ったため、車の運転免許を返納した高齢者においては移動手段が限られることとな

りました。交通面での利便性の向上は優先順位の高い課題だと思われます。人の行き来が活発になる時間帯にバスを増やしたり、交通網を広げるなど、流動的な対策をしていくと良いのではないかと考えました。

意見交換会のために、自分の周囲を改めて考えてみると、今まで考えてもみなかった課題が出てきました。また、人に意見を聞いてみて、「その世代でないと見えてこない課題」というものがあることに気づきました。誰にとっても暮らしやすい環境を目指すために、幅広い世代に愛される町づくりを可能にするために、このように広く人々の意見を集める機会を作っていたいただきたいと思います。

○新見議員

先ほどの主張の中で、フリーWi-Fiの整備された勉強や休憩ができるフリースペースがたくさんあったらいいというお話がありましたが、光市の方で整備している公共施設に設置しているフリーWi-Fiについては、本庁舎、それから教育委員会、各コミュニティセンターを含めて、11箇所のフリーWi-Fiが設置されています。ぜひそのフリーWi-Fiを活用できるフリースペースを使っただけならばと思っております。



空き家相談したい人が不要な不動産を簡単に売買できるような法制度があればいいなというお話ですが、光市では市外の人に向けてですけれども、光市空き家情報バンク制度というのを設けております。お知り合いの方等で市外から光市に移住したいなというような話が、今後、大学に進学したりする際にそういう話があれば、ぜひ光市の空き家情報バンク、今現在7件しか登録はありませんが、ご紹介していただければ嬉しいなと思っております。なかなか情報というのは、積極的に取りにいかないと分かることが少ないものです。私たちもそうなんです、ぜひ積極的に光市のホームページなどを見ていただいて、光市のことをもっと知るようになってもらえると嬉しいなと思いました。

○中村議員



岩田さん、発表ありがとうございます。何個かキーワードがあったと思いますが、広いところから若者が集まるというところで、駅というのが一つのキーワードかなと思ひまして、計画はこれからなんですけれども、光駅そして駅周辺の整備がこれから少しずつされていくと思います。その中で、我々議員がそういった要望、今、岩田さんが言われたような要望をしっかりと聞いて、それをしっかりと伝えていくことが大事だなと思ひました。本当にありがとうございます。幅広い年齢層の方々にも、若者だけじゃなくて、そういった方々にも利用していただけるよう頑張っていきたいと思ひしております。

岩田さんも言われたようにカフェ、あと図書館とかです。そういったキーワードがありました。カフェと図書館が合わさったようなそういったフリースペースで、Wi-Fiやさらには充電もできるようなそういう所があったら、本当に学生とかも集まりやすいんじゃないかなと思ひました。

あとは冠山総合公園という話もありましたが、大型ショッピングセンターっていうのは、広さが駐車場も含めて必要だと思いますので、直ぐにはできないかもしれませんが、大型ショッピングセンターは置いといても、岩田さんが言われるとおり、周辺的环境整備は絶対必要だと思います。今でもせっかくのイベントをしても駐車場が足りないなど、たくさん問題がありますので、そういった意見は大切だと思いました。ありがとうございます。

バスの本数が減ったというところもありました。バスの大きさも変わって、運転手不足も合わさり、便が少なくなったというのもありました。ラッシュ時は朝と夕1本ずつ、始まったときよりは1本ずつ増やしているという現状等もあります。バス会社も努力はそういうふうにしておりますので、今後も運転手の確保などの取り組みをしていきたいと思いました。ありがとうございました

○萬谷議員

貴重なご意見・ご提言ありがとうございました。いろんな角度から光市を見ていてくれているんだなと思って、とても頼もしく思っております。光市は言われる通り、魅力ある施設が少ないとか、また施設が分散していて、車がないと集まって遊べないとか、勉強したりするところがないという、確かにそう思わせてしまっているところも仕方ないのかなと感じながら、ちょっと申し訳なさも感じております。



例えば、徳山駅を歩いていますと、図書館があるということで、たくさんの学生さんたちが勉強していたり本を読んでいたたり、そしてちょっとスタバで一息とかいう姿を電車の待ち合わせ時間にやっているんだろうなと思うと、すごく羨ましい環境だなと思っております。徳山駅は新幹線が止まる駅でもありますし、単純に光駅とは比べようがないんですけど、でも、光駅も今、計画が進行しておりますので、ちょっと時間はかかるんですが、素晴らしい駅になるように私たちも頑張っまいますので、乞うご期待をしていただきたいと思います。

冠山総合公園、光駅、図書館、Wi-Fi設備、色々と聞かせていただきました。光市には、やはり核となるというか軸になる施設が必要なんだなあと、特に思っておりますし、すぐにはできないんですが、やっぱり長期的な事を考えながらも魅力あるまちにしていけないといけないと本当に感じました。私たちもしっかり取り組んでまいりますので、是非皆様のご意見もこれからいただきながら一緒に取り組んでいければと思っております。本日はありがとうございました。

【光高等学校 江本こころさん】



私が光市にお願いしたいことは、地域の道路の整備です。特に、細い道や草木が生い茂っている場所について、整備の必要性を感じています。

まず、私たちの地域には、狭い道路が多く存在しています。これらの道路は、交通量が多い時間帯には、通行が非常に難しくなることがあります。車両同士がすれ違うことが難しく、歩行者や自転車の通行も危険になります。このような状況は、地域の安全性を損なうだけでなく、近く

に住んでいる方の生活にも影響を与えてしまいます。

次に、草木が生い茂っている道路についてですが、これもまた大きな問題だと思えます。草木が道路に覆いかぶさることで、視界が遮られ、特に運転中の安全が脅かされ危険な状況になります。また、草木が生い茂ることで、虫や動物が出てくることもあり、これが交通事故の原因になることも考えられます。さらに、草木が生い茂っていると、道路の美観も失われ、地域の魅力が低下することにも繋がってしまうと思えます。また学生にとっても、草木が道を覆いかぶさることで、通行が難しくなり、特に雨天時には滑りやすくなります。

このような理由から、細い道路や草木が生い茂っている道路の整備をお願いしたいと思います。具体的には、道路の幅を確保し、通行しやすい状態に整備していただくこと、また、草木を整えること、除去を行っていただくことで、視界を確保し、安全な通行を実現したいと考えています。道がきれいになることで、学生も快適な通学路が確保され、ストレスが軽減されます。通いやすくなることで、その学校を志望する人も増え、学校にとっても生徒にとってもメリットが増えると思えます。

整備が進むことで、地域の安全性が向上し、住んでいる方々が安心して生活できる環境が整うことを期待しています。また、地域の美観も向上し、光市を訪れる方々にとっても魅力的な場所になると思えます。

私たちの地域がより良い環境になれば、私も光市の一員としてとてもうれしく思います。ご清聴ありがとうございました。

○仲山議員

自転車で通学しているからこそ分かる、切実な話をお伺いしました。主に歩道を通行している時に、植樹帯等の草の繁茂については、多くの市民の方々も憂慮されております。実際に危険だということももちろんありますし、十分な予算が取れない中、どうやったらそれが少しでもいい状態を保てるのか、我々も知恵を使って考えていかなければいけないところだと感じております。これからも引き続き取り組んでいこうとは思っておりますので見守っててください。



それともう一つ、この中で地域の美観のことについても述べていただきましたけれど、街の印象にすごく関わるところだと思うんですね。さびれているとか、手入れが十分にできない、そういう荒んだ感じに見えてしまうのも、大変大きな問題だと思っています。そういう

点からも考えていくと、市内のあちこちにある案内表示なんかも読めなくなってしまうものもありますし、そういうものを含めて、来訪者の方々がいい印象を持ってくれるような街になってほしいなということもあります。合わせて頑張っていこうと思っておりますので、見守っててください。

○田邊議員

大変素晴らしい主張をお聞きしました。今の江本さんの主張は、そのまま光市議会の本会議、一般質問や委員会でも取り上げても一つもおかしくないような問題点であります。常日頃からそういったところに問題点を掲げているという点、地域の安心、安全、その地域に悪影響を大変及ぼしているというところ、これは私ども議員にとっても、今後とも改善していかなくてはいけないテーマだと思えます。



ところで、道路の整備についてですが、先ほどもありました6年度の当初予算で、約1億円は国費となっているんですけど、そういった状況で今、光市は市道全体の整備をしております。そして年々この市道の整備については増加しております。6年度の時点で市道が約357kmあります。そして1,125路線を管理しているんです。だから日頃から私どもも気にかけてところ、皆様方が気にかけてところを、市のLINE登録アプリをダウンロードしていただいて、写真に撮って通報するサービスも行っております。

【光高等学校 海治祐維さん】



光高校2年、海治祐維です。この度は市議会の皆様に私たち高校生の視点から感じている地域への課題をお伝えさせていただきたいと思えます。私は今の光市を住みやすいと思っています。自分たちが生活する為の店、施設などが設備されていたり、温泉などの娯楽もあつたり、高校生以下の医療費の全額負担、SDGsの実行などの政治面でも整備がされており、住みやすい街だと思っています。

しかし、交通面に問題があると思っています。今年に入って光高生の中で事故に遭ったり、怪我をしている人が増えています。自分自身、去年、自転車で坂を下っていたところ、地面が隆起していて、転倒しました。今年に入って自分のような目に遭った人を多々見かけます。自分たちのような目に合わないためにも交通環境を整備してもらったらよいと思っています。例えば、通学路に街灯が少なく部活から帰る際や学校から帰る際、自転車のライトだけでは前方が見えないことが多いので、通学路付近の街灯の整備が必要だと感じています。また、歩道がガタガタになったりしていて、自転車が通りにくくなっている場所があるので、そこも整備してもらったらよいと考えています。このような交通整備を徹底してもらうことによって、私たち光高校生だけではなく、地域の方々や通勤、通学をしている人達にも良い影響が期待できると感じました。

また、現在、光市には若者が集まれるカフェが少なく、学校帰りに友達と気軽に立ち寄り

る場所が不足していると感じています。このため、若者が集まる場所を増やすことが重要だと思います。そこで、地域にもっと若者向けのカフェを増やすことを提案します。例えば、居心地の良いカフェを学校周辺に作ることで、勉強や友達との交流の場として活用でき、地域の活性化にもつながると考えています。カフェが増えることで、私たち高校生だけでなく、地域の皆さんにも憩いの場が提供されると思います。どうか、この提案をご検討いただきますようお願い申し上げます。

最後に、私たち高校生の意見を聞くために、このような場所をつくっていただきありがとうございました。私たち学生が未来を担っていくために、少しでも耳を傾けてもらったら光栄です。ご清聴ありがとうございました。

○河村議員

今、3点あったかと思います。貴重なご意見をいただいて大変うれしく思います。道路の凹凸についてのご提言で、先ほど田邊議員の方からも話があったかと思いますが、そういったところをアプリで写真を撮ったりして、通報する制度というのもあるんです。

光市では道路河川課というところがあります。パトロールに歩いておりますが、なかなか行き届かないところも多いので、気を付けさせていただいたらと思いますし、気が付いた時にお電話をいただければとても助かりますので、よろしく願いいたします。

それから、通学路付近の防犯灯ということで、光市ではLEDに交換をしてみました。ちょうど光高等学校の下の県道の防犯灯がちょっと暗いですね。暗いというのは、他の防犯灯と一緒になんですけど、光高校の下は法面が結構きつくて、防犯灯の位置がちょっと高いんですね。そういった意味で見えづらいところがあるので、このLEDの防犯灯のワット数をもっと明るいのにしようということで、今検討をさせていただいています。もうじき結論が出ると思います。

最近では、国道でも#9110通報制度というのがあります。県道であろうが市道であろうが、困った時には先ほどの光市の道路の管理課へお電話をいただくと助かります。

それから、3点目がカフェの件だったんですが、他の方からもカフェのご提言をいただきました。私もなかなか今、カフェに行ったりするのに場所がなくて、特に光井地区の市役所から光高校のあたり、全く何もない状況ですので、ぜひできたらいいなというふうには思っています。これから中学生の部活の地域移行なんかが始まって、行き場所がないということにならないように、十分注意して進めていけたらと思っております。皆さん方からご意見を今回いただきましたが、市の方にも困ったときにはご意見を挙げていただくと、私たちも後押しがしやすいので、ぜひよろしく願いしたいと思います。ありがとうございました。



2 意見交換会

○聖光高等学校 中村旬堵さん



僕は、聖光高校の男子バスケットボール部に入部しています。全国で戦うには留学生が必要です。もし留学生が聖光高校に入学したら、光市から留学生が住める環境を整えるための経費を補助していただくことは可能ですか。

○河村議員

議員のほかにもいろいろ活動させていただいておまして、今、バスケットボール協会の方のお手伝いもさせていただいています。この間の選手権ですか、福大大濠高校のように外国人の大きな人がいると、もう優勝できるかもわからないということはよくわかるのですが、そういった人に、光市では補助をする、支援をする制度は今のところありません。そういった学校全体としての取り組みが必要だと思われま



皆さん方からも学校の方へそういったお願いをされるなり、あるいは学校の方からも市の方へ声かけをしていただいて、そういう制度を新たに作るができるかどうか、そういった検討をすることが大事だと思いますので、積極的に動いていただけたらと思います。よろしくお願ひします。

○聖光高等学校 中山月兔さん



近年、南海トラフ地震や豪雨などの自然災害が増加していると思うんですけど、これについてどういった対策をしているんですか。

○新見議員

ご質問ありがとうございます。全国的なものとしては、携帯電話が鳴るようなJアラートというのがありまして、地震については気象庁が最大震度5弱になった場合に、Jアラートが鳴るような内容となっています。光市では光市メール配信サービスというのがありまして、こちらに登録されていれば、光市では震度1以上を観測した時に、携帯電話の方にメールが届くような内容になっています。



その他、通信以外では防災無線による情報発信がされております。地震について、その他、地震があった後の水害、津波等ですね、そういった場合に対応するものとして、光市防災指令拠点として、新しく令和5年度に竣工を迎えた防災庁舎がございます。こちらが統括をして、様々な災害に対応するという取り組みになっております。

○光高等学校 杉山和輝さん



光市の人口減少についてお尋ねします。今年度は光市新市誕生 20 周年記念事業により、多くの魅力を県外の人や光市外の人に伝えることができたと考えていますが、今後、光市の人口減少に対し、どのような取り組みを行っていくのか教えてください。

○清水議員

ご質問ありがとうございます。さまざまな対策はしてきて、移住・定住策などを実施しているんですが、我々議員も交流人口、関係人口とか、どんどん増やすように、移住・定住も増やすようにというのはいろいろ質問しております。Uターン、JターンとかIターンとかで、また戻ってくるができるような取り組みなど、総務委員会の方でいろいろ揉んでいるところです。



○大田議員



今、人口減少のことについて質問をいただきました。ありがとうございました。

光市には経済部の方に観光・シティプロモーション推進課というのが新しくできて、いろいろと対策を進めております。また、議員としても、人口定住のためにどのような行いをしたらいいか、進めるためにどういう街づくりをしたらいいかということも、いろいろ市の方にお聞きしております。

まだ、執行部からの答弁というのはあまり出ておりませんが、そういうふうに議員の皆さんも一生懸命、人口減少対策についてお聞きさせてもらっております。まだ、はっきりした答弁というのはできませんが、そういうふうに議員も活動しておりますので、よろしく願いいたします。

○聖光高等学校 村田美緒さん

光市では様々な取り組みを行っていると思うのですが、現在、光市の活性化のために力を入れている政策、またはこれから入れようと思っている政策があれば教えてください。



○田邊議員



先ほどもありました人口低減の部分についても、ニューフィッシャーとかニューファーマー、そういったものや空き家対策、市営住宅をもっと利用するとか、そういった形でより住みやすい光市について、進めています。私の委員会の方では子育てを今、充実して、いかに子育てしやすい光

市というところで、全体を通していろいろな所管が重なっています。

大体は原資が税金なので、市民の福祉の向上という形で、いわゆる子育てしやすい、そして生活しやすい、そういった形で人口の増加にもつながるというところを議員総意で、今、取り組んでおります。そのうちそういったものについては、光市の独自の形として、また出てくると思いますので、期待してください。よろしくお願いいたします。

○光高等学校 河野杏南さん

私は市外から来てて、高校生になって光市に来るようになったんですけど、光市では若者が参加できるプロジェクト、例えばウォークラリーとかそういうものが少ないような気がします。今、行われているプロジェクトやイベントはどんなものがありますか？



○仲山議員



高校生が参加するというのが、一つには参加者として参加するのと、それから運営側で参加するというのがあるかと思いますが、運営側に関してはいろいろなイベントで高校生の方々も参加してくれているものはたくさんあります。

挙げていくと、ちょっと記憶が定かじゃないので難しいですけど、結構、市のやっている行事やそれに近い、例えば図書館のやっている行事だとかいろんなものに参加してくれたりします。おっぱいまつりだとか、ふれあいまつりだとか、いろんなものに参加してくれています。

ただ、今、声かけが運営側に関しては、学校のJRC経由だとか中学生リーダー、高校生リーダー経由だとかというのが多くて、皆さん全員にとというのはあまり多くはないかもしれません。そのあたりも、本当はもっと声をかけて一緒にやっていただければと思います。成人のつどいも高校生の子たちがかなり働いてできています。

参加者として参加するものに関しては、一般に向けているものは高校生も参加してもらって当然いいわけですけど、高校生に対して是非という感じがちょっと周知に関して弱い面があるかもしれないなと話を聞いていて感じました。これからもそのあたりも含めて、我々も注視して働きかけをしていきたいなというふうに思いました。ありがとうございました。

○聖光高等学校 竹中一葉さん

高齢者が住み慣れた地域での生活を継続するために、光市が行っている取り組みなどありますか。

○小林議員

ご質問ありがとうございます。高齢者が安心して生活していくためには、様々な課題があります。その一つとして、先





ほどの意見提言の中にもありましたが、交通手段を確保することが重要です。具体的には、タクシーチケットを配布しています。これにより、高齢者が外出してコミュニティをつくり、活力のあるまちにつながっています。

○聖光高等学校 木村蓮さん

光市といえばこのスポーツ！というような強化していくスポーツを作るのはどうですか。



○藤川議員



ご提言ありがとうございます。個人的な意見になるかもしれませんが、私も同じことを思っています。先日、高校生と話をする機会があり、光市にはボルダリングの施設があることから、活性化できるのではないかとのことでした。

もう一つ声が上がっているのは、スケートボードです。光市の財産である海とスケートボードのイメージが合うとの声も挙がっていました。私たちは、これからも若い人たちの声をどんどん聴いて、執行部の方に伝え、実現していけたらと思っています。

○光高等学校 海治祐維さん

光市議会の皆様が考える地域課題を教えてください。



○中本議員



光市の課題、あるいは地域の課題はたくさんあります。現状では、人口減少が光市の大きな課題です。また、少子化、高齢化社会になってどのようにまちづくりをしていくということが課題であると考えています。運転免許を返納したことにより、買い物に行けない、病院に行けない、夜の会合にいけないなどの状況が見受けられます。その課題を解決するためには、地域の公共交通を考えなければなりません。

また、会合の時間帯を夜から昼に見直すことも必要です。

光市の人口は、多い時代は 58,000 人、現在は 49,000 人を割っています。おおよそ 8,000 人のまちが一つ消えてしまったこととなります。総合計画をはじめとする様々な計画に沿って施策が講じられていますが、なかなか上手くいっていないのが現状です。

人口減少の問題は光市だけではなく、県、国などの大きな括りで考えていく必要もあると考えています。また、少子化対策に取り組んでいかなければなりません。このような課題があることを皆さんにもご理解いただきたいと思います。今後も皆さんのご意見を議会に挙げ

ていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

○光高等学校 宮本桜さん

雨の日はバスを利用する人が多くて、学生も地域の人も困っているのですが、そのための対策は何かありますか。



○田邊議員



昨年3月を以ってJRバスが光市より撤退したことにより、雨の日のバスの需要の一部がカバーできない状況が発生し、市民の皆さまにご迷惑をかけてしまったことを大変申し訳なく思っています。この問題は、議会側、行政側双方が大きな問題として捉え、一般質問等を通じて課題の解決に努めてきたところです。

一つの事例として、光市高等学校等通学時タクシー運賃助成実証実験事業を行いました。市内のバス路線区間を含む防長交通のバス通学定期券を購入した市内の高校生を対象に、1枚600円分をタクシーの運賃助成として、1人当たり60枚交付という形で募集しましたが、制度の周知等に課題があり、利用されなかった実態があります。

市としては施策を打ったんですが、なかなか手を上げていただけなかったということで、今後このような事態が発生した場合は、もう少し周知できるように、財源は確保したので、うまく活用できるよう、議会として取り上げていきたいと思っております。

○田中議員

補足ですが、昨年4月の新たな公共交通体制が発足以降、積み残し等が発生し、バス利用者の皆さんにご迷惑をおかけしたことをお詫びします。

一方、市の職員については、光駅に張り付いてバス利用の実績を確認、分析し、バスの大型化や増便といった対応をしています。今後もバスの利用に関してお困りのことがあれば、市の担当者にお伝えいただいて、また引き続き利用しながら、お声を聴かせていただければと思います。



○光高等学校 清水瞳葉さん



市議会議員になろうと思ったきっかけとその理由を教えてください。

○林議員

年を重ねて議員を現在しておりますけど、私は大和町が20年前に光市と大和が合併しましたが、大和町時代から町会議員をしております。

私もいろいろと色々な仕事をしながら、学生時代は大和中学校で卓球とかいろいろして、柳商高でも卓球をして結構運動が好きでした。それからいろいろな自分の仕事を持って、美容院とか喫茶店とか経営しておりました。

もともとは私の兄が町会議員をしておりましたが、亡くなりましたので、後継者ということで、予期せず機会をいただくことになりました。

古い話になりますが、婦人会とかそういうそういうことをしておりましたので、何らかの形のめぐりあわせで、私に託していただきました。

その時は躊躇しましたが、男性ばかりでなく女性も街づくりとかに参加できる仕事かなと思って、地域の方にもいろいろな知恵や力をお借りしながら、議員として働かせていただいております。



○光高等学校 田中亜弥さん



市議会で、一番取り上げられている議題って、何かありますか。

○仲小路議員

市議会はさっきスライドでも見ましたが、本当にたくさんさんの課題があります。生きている限りいろんな課題がありまして、先ほどもありましたが、道路の問題とかあるいは高齢者の問題、人口の問題、あるいは福祉に関しては子どもの病気の問題とかそういうものもあります。



また、あるいはゴミの問題、これもかなり大きい問題で、ゴミを分別ができないというのもありますし、他にも本当にたくさんあります。特にこれがというのは、住みやすい街にするという意味で、ゴミの問題は大きな問題として取り上げないといけないなというふうに思っております。

もう一つは、人口が減るという話です。これは実際には亡くなる方が多いんです。そういうことで、実際に年間700人ぐらい亡くなられて、生まれるのが300人を切っているので、自然減の状態です。たくさんの方が、生まれればありがたいと思えるような政策を考える必要があるなど、挙げればキリがありませんが、そういうのが一番大きな問題かなというふうに思っています。

○聖光高等学校 岩田茄都乃さん



光市役所の建て直しや、改装する予定はありますか。

○萬谷議員

以前、実は市役所を建て直そうという計画があって、本当に建て直すんだらうなという時期が実はあったので

すが、いろいろあってそれが棚上げになっています。今ここで働いている職員さんも含めて、大きな地震があった時に、もしかしたら光市役所が耐えきれない可能性があります。

お金と安全性というのが、ちょっと天秤にかかっている状態で、今すぐいつ建て直すという計画はありませんが、それも含めて今取り組んでいる状態でございますので、よろしくお願ひします。また、いい市役所ができればいいなと思っています。



○光高等学校 海治祐維さん



現浅江中学校が今年か来年でなくなると思うんですけど、その後にスポーツができるような、でっかいグラウンドって作ったりしますか。

○清水議員

まだ、グラウンドでそういうスポーツをやるというのは

決まっていないんですけど、本当にそのとおりだと思います。

グラウンドの活用もですが、例えばさっき話があったスケートボード、アーバンスポーツとか、プールなどでBMXができるようなパークを作るとか、体育館でそういったアーバンスポーツができるものも、ぜひやっていかなきゃいけないなと思います。今、具体的にそこを使ってスポーツをするというものは決まってはいいませんが、これはもうぜひやっていくべきだと思うので、そういった意見をぜひ、反映させていけるように働いていこうと思います。



○西村議員



浅江中学校はこれから移転をしていく計画になっていますけれど、大きく分けて、今の校舎の部分とグラウンドの部分と話が実は分かれています。

なんで分かれているかという、移転するにあたってグラウンドの部分というのは、光市のものじゃあ今度なくなるんです。山口県の所有のものに、移るといふ経緯があつてですね、グラウンドのところに関しては今、全く話が未定というか、

何も触れられないような状況かと思います。

おっしゃるようにグラウンドを今後、協議していくとか、校舎の中身自体をどういうふう
に活用していくかというのは、市も企画調整課の中で、行政の別の部署で活用するのか、別
の用途として活用していくのか検討しています。

はたまた民間、今、言った体育館はそういった事業者であったりとか、校舎の中はまた
別の民間のカフェとか映画とかなんでもいいんですけど、民間の事業が活用するのがいいん
じゃないとか、そういう議論が沢山なされているところで、まだ方向性は決まっていませ
ん。

そういったご意見を踏まえて、しっかりと浅江中学校の跡地というものが、皆様にとって
有意義に活用できるように努めてまいる所存です。

○聖光高等学校 小熊杏さん

光市では、今回の会みたいに地元の若い人たちが皆さんに
意見を言える機会が多いと思うんですけど、その中で実際に
実行されたことってありますか。



○藤川議員



ありがとうございます。私
は議員になって日数が浅いん
ですけれど、これから若い人の声とか年代別の声というのは
聞いていきたいと思っています。

私は大和出身で、大和エリアから始めようと思っているん
ですけれど、あるスペースを使って、あるミーティングの日に
ちを決めて、ミートアップ会議ということで、誰もが自由に入
ってこれるという活動を大和地区では始めようかなと思っています。

なので、いろんなところで、集まれる場所とか、自由に意見が言える場所ってというのが増
えたらいいなと思って、これから活動をしていきたいと思っています。

○森戸議員

何年か前ですが、この高校生との意見交換会の場で、光高等
学校のバス停について、最初は国道まで降りていかなければ
ならなかったんですが、新しいバス停を作ってくださいとい
うご意見をいただいて、議会の中でそれを取り上げて、新しい
バス停が設置されたということがありました。

なので、ぜひまたですね、いろんなご意見をいただいたら、
実現に向かっていく可能性もありますので、よろしくお願ひいたします。



3 傍聴者アンケート

(1) 今回の意見交換会の感想、意見等をお聞かせ下さい。

- ・日頃歩道等を活用していない自分にとって、活用する高校生にとって重要な切実な願いが通学路の整備とは目からウロコであった。市議側からのコメントはわかりやすかった。通報制度についても理解できた。
- ・夏の虹ヶ浜海岸は海水浴客や花火大会等イベントで賑わうが冬場には人影もなく、冬場のイベント若しくは人の集まる場所等が欲しいとの要望があった。光駅周辺の整備が予定されているようですが、併せて検討してほしい。
- ・若い人の意見が聞けて良かった。
- ・本件開催の意義あり、継続すべき。
- ・高校生の中に有用な意見があれば小さなことでも議会で実行したらどうか。(さらなる活性化の呼び水的発想)
- ・人口問題に対して確たる政策はない様だ。人口問題は増やす政策ばかりでは無いはずで減少したときにはどうするのかの視点がなければ高校生の質問に答えられないのではないか。(市議側の勉強不足が気になった)
- ・この度は貴重な意見が多く出ていて若者視点の意見が多く良かったです。今後の光市の発展に大変参考になる提案もあり大人の自分も勉強になりました。
- ・高校生が地域の課題等について考える良い機会となった。若者が社会に関心を持つ取り組みを今後も継続してほしい。
- ・若い人の意見を聞くことはとても大事なことです。要望に対して理解を示した上で、市ができることとできないことを伝えることも必要なのではと思います。高校生にとっても貴重な機会ですので、質問する内容は事前に考えて、市のHPで少しでも調べてから質問してもらおうと良いのではと感じました。
- ・若者の意見は刺激的。選挙活動の時も若者向けの発言があれば若者の心を掴み投票率が上がるんじゃないかと思います。どうしても候補者と同年齢に向けた公約が多いので、若者は無関心なんじゃないかと感じています。
- ・元「青年の家」解体は？南海トラフ地震まで待つのかな。
- ・3年前他県より移住しました。元々、下松が地元で、光の高校に通っていましたが。その後は他県の学校・結婚を経て20年ぶりに戻ってきました。印象としては、スーパー等が増え少し便利にはなったと思いますが、高校生の目線での意見は、実現できたらよいなと思います。カフェという意見が多かったですが、図書館の整備をすることで、子ども達の勉強の意欲向上につながるのではと思いました。私自身も下松の図書館を利用することが多く、静かできれいで勉強に集中できる環境はとても大切だと思います。現在、中学生・高校生の息子がいますが、自宅だけでなく静かで勉強できる環境をとっても求めています。長く住みたいと思える光市になるようによろしく願いいたします。
- ・高校生の提案・提言がきっかけとなって実際に光市に新たに取入れられたこと改善されたことにどんなもの(施策)があるのかを取り上げてほしい。学校現場はこの意見交換会の準備に時間をかけて臨みますが発表だけで終わってしまうのは非常にもったいないと思います。ここでの提言が実際に大きく市政に活かされていることが分かれば少しは生徒達の意識付けにもなる。

4 参加高校生アンケート

(回答 14 回収率 100%)

(1) 市議会の役割や活動は理解できましたか？

- | | | |
|--------------|-------|----|
| ①理解できた | _____ | 9人 |
| ②ある程度理解できた | _____ | 5人 |
| ③あまり理解できなかった | _____ | 0人 |
| ④理解できなかった | _____ | 0人 |

(2) 今まで市議会に関心はありましたか？

- | | | |
|--------|-------|----|
| ①あった | _____ | 2人 |
| ②少しあった | _____ | 8人 |
| ③なかった | _____ | 4人 |

(3) 今日、参加して市議会に関心を持つ事はできましたか。

- | | | |
|---------|-------|----|
| ①持てた | _____ | 9人 |
| ②少し持てた | _____ | 5人 |
| ③持てなかった | _____ | 0人 |

(4) 今回のような意見交換会を開催することについて、どう思いますか？

- | | | |
|-----------|-------|-----|
| ①積極的にやるべき | _____ | 13人 |
| ②必要性を感じない | _____ | 0人 |
| ③わからない | _____ | 1人 |

(5) ズバリ、市議会議員をはじめとする政治家になりたいと思いますか？

- | | | |
|-----------|-------|----|
| ①なりたいと思った | _____ | 0人 |
| ②特になりたくない | _____ | 6人 |
| ③わからない | _____ | 8人 |

(6) 今回の意見交換会の感想・意見等をお聞かせ下さい。

- ・良い勉強になりました。ありがとうございました。
- ・自分が知らなかった光市のサービス、設備などを知ることができ光市の魅力を再発見できたと同時に同じ世代からの意見により、市の課題を知れました。
- ・みなさまの意見が聞けてすごく楽しい時間でした。
- ・(質問) 政策が決まるまで平均でどのくらいの期間が掛かるのか。
- ・普段は入れないところに入ることできる貴重な体験だった。
- ・市議会議員さんと話し合ったことによって自分が思っていた疑問などがわかってよかったです。市議会議員という仕事にすこし興味を持ってました。
- ・自分の知らなかった制度やサービス、市議会のことを知ることができ大きな学びとなりました。
- ・若者の意見をきいていただくことができ、とても素敵な機会だったと思いました。ありがとうございました。

- 交換会だからこそ、聞けることもあって参加してよかったと思った。
- 市議会は市民の意見も聞くことができると知ってびっくりしました。
- 市議会議員だけではわからないことも自分も理解できてよかったです。自分の意見が役に立てられると思ったら本当にうれしかったです。光駅の北口が欲しいのですが作ることは可能ですか。
- 普段きけないようなことが聞けて良い機会になりました。
- 貴重な機会を得ることができてよかったです。ありがとうございました。
- 市議会議員の皆さんが今日、優しかったので、今までは堅苦しいイメージだったけど、議会のイメージが優しくなりました。また市域の政治にも興味を持つことができました。